

「コミわか」この一年を振り返って

環境部

若槻の人と若槻の自然の関わりを深めて、 若槻の自然とより良い関係を築こう

若槻地域は、浅川、駒沢川の扇状地、三登山に向かって次第に高まる丘陵地の織りなす美しい地域です。

環境部長 上條 補喜

ともすれば、私どもは社会環境に翻弄され足下の自然には目が向かないのではと思います。昨今の地球温暖化による様々な災害は、人と自然との関わりの改善の必要性を示唆しております。

今年度、2つの部会を統合した自然環境部会は、2つの事業に取り組んで参りました。一つ目は、自然を良く見つめようという活動です。まず、「自然観察会」は、樹木・草花、昆虫、星空、野鳥と年々内容も多彩となり、参加者が増えています。若槻全域の自然を見直して「若槻自然遺産」として登録する活動は、今回お手元にパンフレットとしてお届けすることができました。家族、育成会、地域の行事にご活用ください。

もう一つは、自然の状態を調べ改善につなげる活動です。これには、区長OB会の協力を得て行う河川・溜池の水質調査や、忘れてはならない三登山の産業廃棄物処理問題、そして今年度は、里山回復の手がかりを考えるために、「里山づくり懇談会」として実施した環境問題啓発事業です。



ホタルウィーク開幕セレモニー

これらの活動を継続してきた結果、「ホタルの生息域の拡大」が図れたと考えています。今年度、浅川や徳間川でホタルの生息調査をしました。2つの河川それぞれで、数十匹の生息が確認されました。一番の象徴が、ご存じ土京川のホタルです。ホタルウィークは、駐車場や案内板の設置、当日の案内や警備など多くの方々にボランティアで支えていただき、幼児からお年寄りまで、多くの見学者が訪れております。若槻に暮らす人々と自然とのよりよい関係が築かれつつあることを確信し、来年度の環境部の活動に、さらなる応援とご協力をお願いします。



春の自然観察会

福祉健康部

誰もが健やかに暮らし認め合い 支えあうまち若槻を目指しています

乳幼児とその保護者対象の「お母さんの何でもトーク」「おはなし会」、高齢者の方向けの「お茶のみサロン」「介護者の集い」、地区的皆様にご参加いただく「ふれあいバザー」「料理教室」、福祉自動車での「移送サービス」など様々な事業を行い、隣近所の支えあい、また地域の絆づくりに取組んできました。

福祉健康部長 北村 勝

特に、今年度から取り組んでいる「婚活推進事業」は、本人や親族からの相談の他、「親の婚活茶話会」を2回開催しました。市内外各地から応募があり、お見合いから婚約までのカップルも誕生し、着々と成果が出ています。

また、“健康な暮らしに光を！”の「ぴっかり教室」は多彩なメニューで、多くの受講者が集まり、頭と体を活性化しました。

各事業は4月からも続けて活動しますので、積極的なご参加をお待ちしております。



ぴっかり教室



ふれあいバザー



介護者の集い



婚活推進事業の打ち合わせ